

科目名	児 童 文 化	教員名	やまだ かつみ 山田 克巳	開 講	保育科	1年次	前 期
<p>・目的と内容</p> <p>今日、DVD・VD・PC・インターネット・ブレステ等々の普及により、現代の子ども達は、立体的な動画と音楽が一体化された世界が当たり前になっている。しかし、一昔前までは親・兄・姉などが語り部となり、愛情を込めた声で名作を読んでくれていた。そこには、本を媒介とした親、きょうだいのスキンシップがあり、人間同士の深いつながりがあったのである。現代の家庭では減少している「心のキャッチボール」を保育現場が補わなくてはならない現況を踏まえ、保育者が愛情たっぷりの語り部となるための実践力を身につける必要がある。</p> <p>よってこの授業では、絵本・紙芝居・パネルシアター等を教材とし、「心のキャッチボール」ができる保育者としての基礎力を身につけることを目的とする。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数：1 単位、授業週数：15 回 ]</p> <p>[ 前期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．オリエンテーション</li> <li>2．絵本の選び方と読み方</li> <li>3．読み聞かせの実践</li> <li>4．読み聞かせの実践</li> <li>5．紙芝居の選び方と読み方</li> <li>6．読み聞かせの実践</li> <li>7．読み聞かせの実践</li> <li>8．パネルシアターとは何か</li> <li>9．パネルシアターの作成</li> <li>10．パネルシアターの作成</li> <li>11．パネルシアターの作成</li> <li>12．パネルシアターの作成</li> <li>13．パネルシアターの実践</li> <li>14．パネルシアターの実践</li> <li>15．試験</li> </ol>							
<p>・講義の進め方</p> <p>講義形態は、演習を中心とする。5～6人のグループに別れ、各自が絵本や紙芝居の読み聞かせを実際に行う。パネルシアターは、グループ毎に一つの作品を作り、全員の前で発表する。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>ペーパー試験・出席率・参加態度・意欲及びグループ発表の内容で評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>絵本・紙芝居・パネルシアターの特徴をしっかりとおさえると共に、これらを演じるために創意工夫をし、より実践的な表現力を身につけてほしい。また、グループ活動が中心となるので、欠席や遅刻をすることにより、他のメンバーに多大な迷惑がかかることを常に意識し、受講すること。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：なし 参考書：必要に応じて配布する</p>							